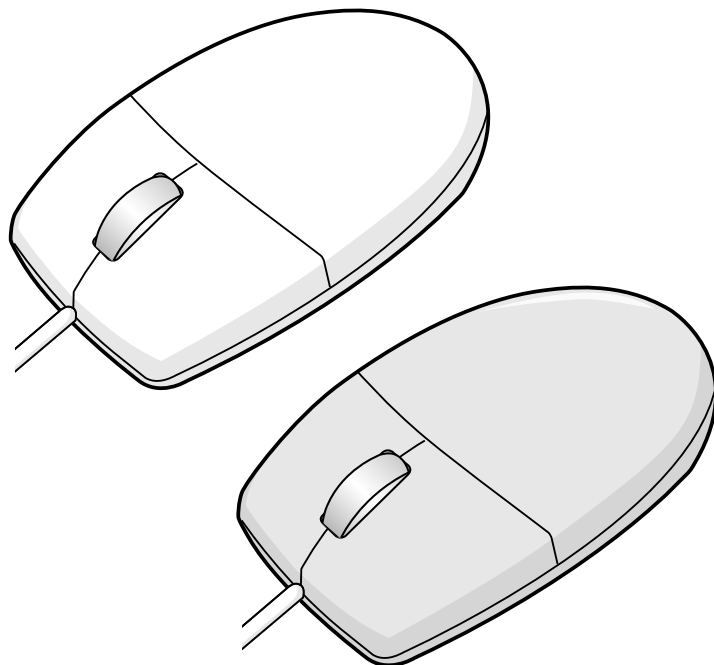




モバイルマウス 取扱説明書



**PS/2 MOBILE
MOUSE**

モバイルマウス

最初に
ご確認
ください。

セ
ン
テ
ー
ル
内
容

モバイルマウス	1 台
ドライバディスク(8cmCD)	1 枚
取扱説明書	1 部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- 1 警告
はじめに (特長、スクロールについて)
- 2 対応機種
接続する前に必ずお読みください
< PS/2接続の場合 >
- 3 マウスの接続
ソフトウェアのインストール
・Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール
- 6 本製品の使用方法
・各部の名称
・左右のボタン・ホイールボタン・スクロール
- 8 スクロールボタンの使用方法
・クイックスクロール・オートスクロール・ズーム・データのズーム
- 9 Mouse Suite 2002のコントロールパネル
- 10 マウスプロパティのタブ
・拡大鏡
・ハイパーリンク
・ハイパーグリッド
・その他の機能
- 12 ダブルクリック
方向
- 13 ホイール
・ホイール (W)
・ホイールボタン (B)・スクロール速度 (C)
- 15 ポインタユーティリティ
・ポインタラップ (V)
・ポインタを隠す (V)・ソナー (O)・スローモーション (S)
・X焦点 (X)・オートジャンプ
- 16 Mouse Suite
・オンライン製品サポート
・アンインストールユーティリティ (U)
・マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)
- 17 メンテナンス
テクニカルサポート

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認ください。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせるお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

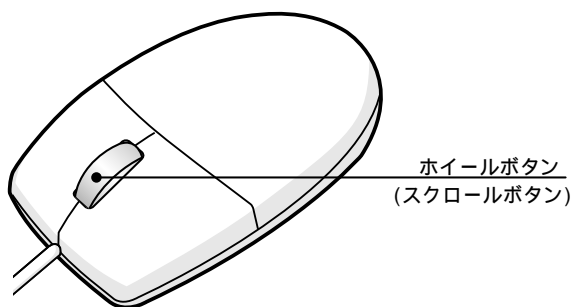
はじめに

この度は、モバイルマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、マウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックするだけで、Windows上で簡単に画面スクロールが行えるようになります。

また、この商品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、データズームなど)が行えます。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。



対応機種

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ¹、IBM PC、Aptiva
及びThinkPadシリーズ

PS/2マウスポートもしくはシリアルポートを持ち、8cmCDが使用できる機種。
対応OS:Windows XP、2000、Me、98Second Edition、98、95、
NT4.0 (SP3以降)

¹ただし本体にPS/2マウスポートを持つ機種。(キーボード上のマウスポートに接続した場合には正常に動作しません)

多くのノートパソコンには内蔵ポインティングデバイス用ユーティリティがインストールされています。製品添付のドライバは競合しますので取り除いてご使用ください。また一部のポインティングデバイス内蔵のノートパソコン(排他制御機能のないタイプ)及びUSBキーボードにPS/2マウスが接続できるデスクトップパソコンにはシリアル接続してください。機種により対応できないものもあります。

接続する前に必ずお読みください。

< PS/2接続の場合 >

本製品添付のドライバは各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールしないでお使い下さい。

各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャ マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を
「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバ
を更新してください。

途中「このデバイスに適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストール
してください。

IBM ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストール
してください。

Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストール
してください。その後デバイスマネージャ マウスで
「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft
PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。

途中「このデバイスに適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

その上、ノートパソコンなどの場合、内蔵のポインティングデバイス(タッチパッドなど)が動かないか確認してください。動かなければ前準備は終了です。ドライバのインストールを開始してください。

内蔵ポインティングデバイスが切り離されていない場合
各マシンによって設定方法が違います。以下を参考にしてください。

NEC、富士通、シャープ、パナソニック製PCの場合
起動時にF2キーを押し、BIOSセットアップで内蔵タッチパッド
(Internal PS/2 Mouse)をAutoあるいはDisableにしてください。

ソニーVAIOシリーズの場合
コントロールパネルのNotebook Setupにて内蔵ポインティングデバイス
を使用しないにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合
ThinkPadユーティリティでトラックポイントを切り離してください。

マウスの接続

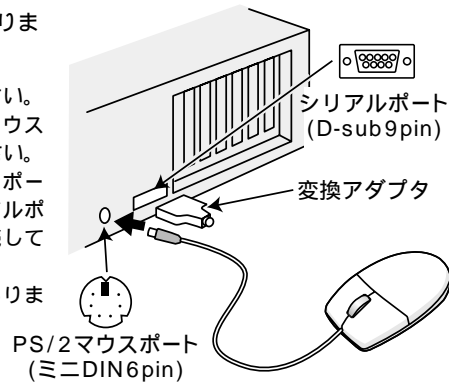
本製品はPS/2マウス&シリアルインターフェイスに対応したマウスですので、接続は次のように行います。

接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

コンピュータの電源を切ってください。コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。コンピュータ背面のPS/2マウスポート(ミニDIN6pin)もしくはシリアルポート(D-sub9pin)に本製品を接続してください。

接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

電源を入れてください。



一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵のノートパソコン(排他制御機能のないタイプ)及びUSBキーボードにPS/2マウスが接続できるデスクトップパソコンにはシリアルポート接続により対応しています。

赤外線・内蔵モデムを持つノートパソコンに本製品をシリアル接続される際はノートパソコンのCOM1ポートをあける様に設定してください。詳細の設定の方法については、パソコンのマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXデスクトップ機に本製品をシリアル接続する際には、キーボードに接続するPS/2マウスをはずしてご使用ください。

ソフトウェアのインストール

Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール

- 重 要：**マウスを接続し、カーソルが正常に動作することを確認してから、ドライバソフトをインストールしてください。インストール前に他のアプリケーション等を外しておいてください。
- アドバイス：**ソフトウェアをインストールしなくても、マウスの基本的なスクロールは使えます。もしハイパーグリッドなどMouse Suite 2002の特別な機能を使いたい場合は、ソフトウェアのインストールが必要になります。

Windowsを完全に起動させ、Mouse Suite2002をCD-ROMドライブに入れてください。

Mouse Suiteセットアッププログラムが自動的に立ち上がります。もし自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」「ファイル名を指定して実行」「D:¥Setup.exe」(DがCD-ROMドライブの場合)でセットアッププログラムを立ち上げてください。

あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

ソフトウェアのインストール(続き)

Mouse Suite2002



ようこそ
Mouse Suite2002セットプログラムへ
ようこそ。
このプログラムはMouse Suite2002
をシステムにインストールします。
----- 次へ(N)



ハードインターフェイスの選択
PS/2(P)
シリアル(RS-232C)(S)
• USB(Universal Serial Bus)(U)
「USB」を選択して ----- 次へ(N)



マウスの場所を選択
• キーボード右側(右利きユーザー)(R)
• キーボード左側(左利きユーザー)(L)
----- 次へ(N)



インストールの開始
インストールの準備ができました
----- 次へ(N)

ソフトウェアのインストール(続き)



セットアップ完了
セットアップがMouse Suiteをインストールしました ----- 完了(E)

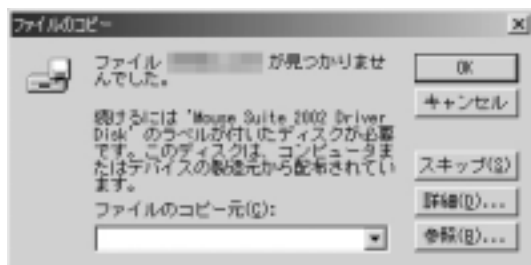
セットアップ中に下記のようなダイアログが表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。



この場合「ファイルのコピー元」にインストールディスクのドライブ名を指定してください。

CDの場合は環境によって違います。
ドライバCDがDドライブの場合を例にあげています。
Dドライブ以外にCDが挿入されている場合は先頭の文字をそのドライブ名の先頭の文字に置き換えてください。

- < Windows Me/98の場合 > d:¥w98
- < Windows XP/2000の場合 > d:¥w2k
- < Windows NT4.0の場合 > d:¥nt4
- < Windows 95でPS/2接続の場合 > d:¥w95



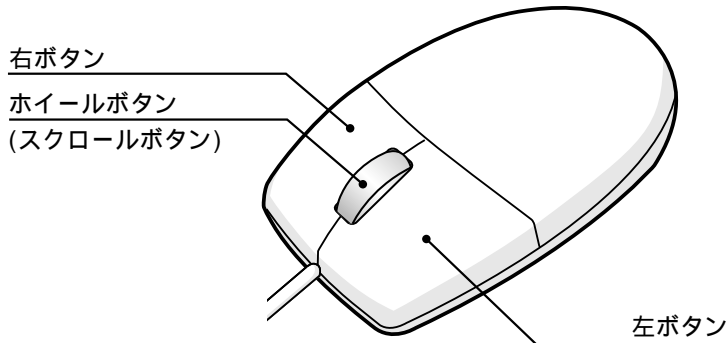
Windows XP/2000の場合、インストール作業中にデジタル署名がないという警告メッセージがでる場合がありますが、弊社内で検証を行っておりますので、インストール作業を継続していただいても問題ありません。

本製品の使用方法

各部の名称

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。またボタン機能としての設定に変更することも可能です。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。(スクロール、オートスクロール、クイックスクロール)

本製品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、ズーム、データズームなど)が行えます。



左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また、右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの働きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。

左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中の「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

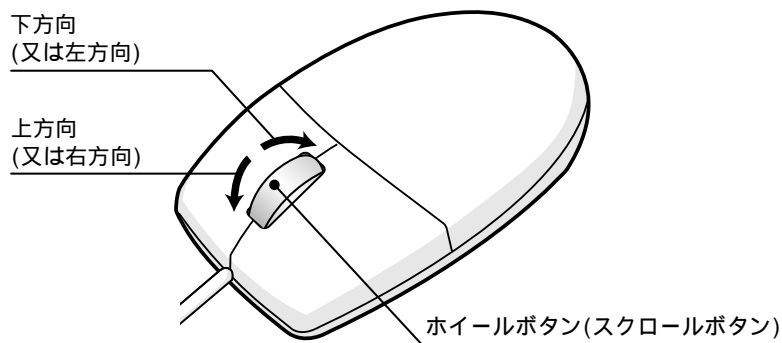
ホイールボタン

この機能で、ホイールボタンを「キーボードファンクション」として割り当てることができます。ここで、選択できる機能は「ウインドウズのアイコン化/最大化」「ウインドウズを閉じる」「スタートボタン」「ダブルクリック」「ドラッグロック」「ページアップ/ダウン」「次のウインドウズ」などです。例えば、ホイールボタンをボタン機能として割り当て、さらにそれをダブルクリック機能に設定することができるのです。

本製品の使用方法(続き)

スクロール

スクロールとはウィンドウ内を上下、左右へと移動させることをいい、通常水平スクロールバーと、垂直スクロールバーをクリックすることでスクロールが可能になります。本製品ではホイールを回転させることでスクロールができます。カーソルをスクロールバー内の位置に持っていき、ホイールを回転させてください。この時のスクロールの方向が水平方向であるか垂直方向であるかは、スクロールバー上にあるカーソルの位置によってマウスが自動的に判断してくれます。初期設定では、ホイールをモニタ方向に回転させると、上または右方向(スクロールバー上のカーソルの位置による)にスクロールされます。手前方向に回転させると、下または左方向にスクロールされます。この方向の変更は、「ホイールタブ」の中の「設定」で「スクロール方向の逆転」をクリックすると可能で



スクロールボタンの使用方法

クイックスクロール

ホイールボタンを押したまま、マウスをずらすとスクロールできます。クイックスクロールは初期設定で既に設定されています。この機能で、ページごとまたは1行ごとのスクロールが簡単に行えます。

オートスクロール

これは、初めに少しスクロールするだけで、後は自動的にスクロールを続けてくれるという機能です。例えば、ホイールボタンを押し、マウスを手前に動かして少しスクロールするとそのままずっとスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Zoom in」で倍率が上がります。「Zoom out」で倍率が下がります。また、コントロールキーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。


データのズーム

データについてのズームもMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。

この機能で、ウィンドウ内のズームの調整ができます。「Shift」キーを押しながらホイールボタンを回転させると、データのズームができます。

また、アプリケーションによってはデータのズーム機能は多少異なります。例えば、Internet Explorerではハイパーリンクによるジャンプや元の画面に戻ることができたり、Microsoft Wordではヘッダーやテキストのアウトラインを拡大、縮小することができたりします。

Mouse Suite 2002のコントロールパネル

Mouse Suite 2000をインストール後、Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックすると、Mouse Suite 2002の初期画面が表示されますので、モバイルマウスを選択してください。




接続されたマウスである、モバイルマウスを必ず選択してください。間違えたマウスを選択すると、マウスコントロールパネルの絵が実際と異なり、再インストールが必要となります。

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルにより色々な機能が使用できるようになります。



マウスコントロールパネルを立上げる場合、下記に従ってください。

Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックしてください。
または、Windowsのスタートボタンを左クリックし、設定 (S) の中のコントロールパネル (C) を選択してください。コントロールパネルの中のマウスアイコンを選択してください。

マウスプロパティのタブ

Mouse Suite 2002は、マウスプロパティで使用したいタブをクリックすると、色々な機能を使う事ができます。

「ボタン」の設定

ボタンページを開くとマウスボタンの機能のカスタマイズができます。初期設定は以下で説明しています。



- 左ボタン：第一マウスボタン
- 右ボタン：コンテキストメニュー
- ホイールボタン：クイック/オートスクロール

マウスの設定を変えたい場合、下記に従ってください。

ボタンの設定を変えたい場合、マウスイメージの中にあるボタンをクリックしてください。または、「ボタン (B)」リストの中からボタンを選択してください。選択したボタンがボタンリストとマウスアイコンの中に出ます。そして、「機能 (F)」リストからボタンの機能を選んでください。(最低一つのボタンをメインマウスボタン (第一マウスボタン) の設定にしてください。)

マウスボタンの機能を初期設定に戻したい場合、「デフォルト値を使用 (D)」をクリックしてください。

ボタンの設定を確定する場合、「適用 (A)」をクリックして下さい。

拡大鏡

マウスボタンを拡大機能として選択すると、クリックするだけでカーソルの周辺が拡大されます。

「ボタン (B)」の中からボタンを選択してください。そして、拡大機能を可能にするため、ファンクションリストの中から「拡大鏡」を選択してください。「設定 (S)」の機能で拡大のサイズを調節することができます。最後に「適用 (A)」をクリックしてください。拡大機能がマウスのクリックで実行可能になります。

マウスプロパティのタブ(続き)

ハイパーリンク

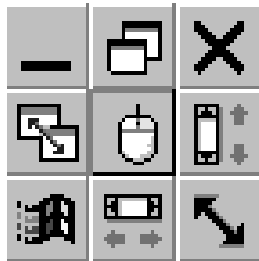
マウスボタンをハイパーリンクとして選択すると、クリックするだけでアプリケーションまたはドキュメントを簡単に開くことができます。

「ボタン (B)」の中からボタンを選択してください。ファンクションリストに入っていないドキュメントまたはアプリケーションを選択したい場合、ファンクションリストの中から「ハイパーリンク」を選択してください。次に、「設定 (S)」をクリックしてください。「参照 (B)」をクリックし、適切な登録したいアプリケーションを選んでください。選択した機能を確定する際は、「OK」をクリックして最後に「適用 (A)」をクリックしてください。ハイパーリンク機能がマウスのクリックで実行可能になります。

ハイパーグリッド

ハイパーグリッドには9つのWindows機能があります。この9つの機能は1つの画面上で選択できるので1クリックで簡単に使用できます。

上記の手順と同じように、いずれかのマウスボタンをハイパーグリッド機能として選択してください。ハイパーグリッドの使用の際は、ハイパーグリッド機能を割り当てたマウスボタンを押さばなしにしておくことでグリッドが現れますので、ボタンを押したまま選択したいアイコンまでカーソルを移動させボタンを放してください。



その他の機能

ボタン割り付け機能の一覧

後退

ウインドウを閉じる

コントロールパネル

コピー (Ctrl+C)

コンテキストメニュー

切り取り (Ctrl+X)

ダブルクリック

ドラッグロック

Enter

Esc

F1~F12

ウインドウズの最大化

マウスの中央ボタン

ウインドウズの最小化

マイコンピュータ

ハイパーグリッド

次のウインドウ

ページを下へ

ページを上へ

貼り付け (Ctrl+V)

第一マウスボタン

プリンタ

クイック/オートスクロール

ゴミ箱

Ctrl+A

ウインドウズを元のサイズに戻す

スタートボタン

インターネット

元に戻す (Ctrl+Z)

エクスプローラー

ハイパーリンク

拡大鏡

ダブルクリック

ダブルクリックの機能で、アプリケーション上でのダブルクリックに対する反応の速さを調節することができます。



ダブルクリックのスピードを調節する場合、ダブルクリックの速度 (D) 内のスライダーをクリックアンドドラッグで左右に移動させてください。左側に移動させると速度は遅くなり、右側に移動させると速くなります。マウス操作に慣れていない方は、バーを左側に移動させると、ダブルクリックの速度は遅くなるので、使い易くなります。

「デフォルト値に戻す (R)」をダブルクリックするとスピードの設定をリセットすることができます。

ダブルクリックのスピードを試したい場合は、テストエリアにあるアイコンをダブルクリックしてください。

確認は、「適用 (A)」をクリックしてください。

方向

この機能で、一番使い易いマウスのポジションを設定することができます。



「方向の設定 (S)」をクリックするとマウスの位置の設定画面が出てくるので、これに従ってください。

位置の設定を初期設定の戻す場合は「方向の設定をリセット (R)」をクリックしてください。

確認は、「適用 (A)」をクリックしてください。

ホイール

ホイールの設定で、スクロールとホイールのボタンの設定ができます。



ホイール (W)

Mouse Suite 2002はMicrosoft Intellimouseと互換性があります。Intellimouseのエミュレーションを選択すると、ホイールのスクロール機能はMicrosoft Office 97と互換性のあるアプリケーションのみ使用できるようになります。

Microsoft Intellimouseのエミュレーションのみを使用したい場合は、「Microsoft Office 97 スクロールエミュレーションのみを使用 (M)」を選択し「適用 (A)」をクリックしてください。

Mouse Suite 2002には「ユニバーサルスクロール機能」があり、ほとんどのアプリケーションのスクロールバーに使用できます。

(例: WordPerfect 97, Netscape Navigator 3.0, Microsoft Office 95) しかし、ユニバーサルスクロール機能を選択している場合、マウスはIntellimouseの拡大・縮小機能が使えなくなります。この機能を使いたい場合は、「例外 (X)」ボタンを選択し、Intellimouseモードで使用したいアプリケーションを指定してください。

「ユニバーサルスクロール機能」を使用可能にする場合は、ホイールの中にある「ユニバーサルスクロールを使用 (E)」を選択し、「適用 (A)」をクリックしてください。

拡大・縮小機能を使用可能にしたいアプリケーションを指定するために、ホイールにある「例外 (X)」ボタンを選択してください。次に「追加 (A)」ボタンをクリックしてください。そして、指定したいアプリケーション名をプログラムパスに入力してください。「参照 (B)」ボタンで追加するアプリケーションを選択することができます。確認は「OK」をクリックしてください。指定したアプリケーションを削除したい場合、「削除 (R)」をクリックし「OK」で確定してください。

ホイール(続き)

ホイールボタン (B)

「ホイールボタン (B)」でマウスのホイールボタン機能の変更ができます。

「クイック/オートスクロールコントロール (Q)」を選択すると、クイックスクロール/オートスクロール機能が使えます。

スクロール/オートスクロール以外の機能をホイールボタンに割り付けしたい場合は、「ボタン機能 (U)」をクリックしボタンファンクションリストが表示されます。このリストの中から機能を選択し、「適用 (A)」をクリックして確認してください。

スクロール速度 (C)

「スクロール速度 (C)」でホイールボタンのスクロールスピードの調節ができます。

「スクロール (O) ライン/ノッチ」を選択し、1行から20行までのスクロールの幅の調節ができます。矢印でスクロールの幅の調節を行ってください。

「1ノッチにつき1画面をスクロール (N)」を選択すると、スクロールは1画面ごとにスクロールされます。

スクロールの方向を逆にした場合、「スクロール方向を逆転 (V)」にチェックを入れてください。

ホイールの設定を確認する場合「適用 (A)」をクリックしてください。

ポインタユーティリティ

ポインタユーティリティを開くと、ポインタラップ、ポインタを隠す、ソナー、スローモーション、X焦点、オートジャンプの機能を設定することができます。



ポインタユーティリティの機能を使用可能にするために、どれかにチェックを入れ「適用 (A)」をクリックしてください。

ポインタラップ (W)

「ポインタラップ (W)」を使用可能にすると、ポインタを画面のはしに移動したとき自動的にカーソルが画面の反対側に現れます。

ポインタを隠す (V)

「ポインタを隠す (V)」を使用可能にすると、タイピング時カーソルが消えます。マウスを移動させると自動的に画面にカーソルが現れます。

ソナー (O)

「ソナー (O)」の機能で簡単にカーソルの位置が確認できます。Ctrlキーを押すと、ソナー機能が使用可能になります。この機能は他のCtrlキーの機能に干渉しません。

スローモーション (S)

Shiftキーを押せばなしにすると、カーソルを一時的にゆっくり移動させることができます。この機能は他のShiftキーの機能と干渉しません。

X焦点 (X)

タイトルバーにカーソルを移動すると、そのウィンドウをアクティブにすることができます。ウィンドウを切り替えるとき、クリック無しで行えるので大変便利です。

オートジャンプ (J)

「オートジャンプ (J)」を選択すると、ダイアログボックスを開いたとき、カーソルが自動的にデフォルトボタンに移動します。

Mouse Suite

Mouse Suite のページは、色々なオンライン製品サポートのリンクまたはアンインストールとタスクバーマウスアイコン機能があります。



オンライン製品サポート

お問い合わせは弊社Webサイトより「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」のリンクをたどり、問い合わせフォームに必要事項を記入して送信してください。

Mouse Suite のアップデートドライバをダウンロードする場合、弊社Webサイトに行き、ダウンロードできます。

アンインストールユーティリティ (U)

Mouse Suite をアンインストールする場合、「アンインストール (U)」ボタンをクリックし画面に出てくる指示に従ってください。

マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)

Mouse Suite のアイコンをWindowsタスクバーに追加したい場合、「マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)」にチェックマークし、「適用 (A)」をクリックしてください。

メンテナンス

カーソルが正しく動かない場合、下記に従ってマウスの掃除をしてください。
マウスの掃除をする際は、パソコンの電源を切っておこなってください。

マウスのボールカバーを左周りに回してボールカバーを取り外し、ボールを取り出し掃除をしてください。

きれいな布でボールの汚れをふき取り、マウスのなかのゴミを吹き出してください。

ローラが汚れている場合は、綿棒にアルコールを含ませてふき取ってください。綿棒のかすがローラーについていないかどうか確認してください。

ボールをもとに戻し、ボールカバーを時計回りに回して、取り付けてくださ

テクニカルサポート

Mouse Suite 2002インストールが上手くできない場合、テクニカルサポートスタッフまでご連絡下さい。問題解決に万全を尽くします。

ホームページ： <http://www.sanwa.co.jp/>

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルに入っています。

お問い合わせは弊社Webサイトからが便利です。
「サポート」 「お問い合わせについて」 「商品に関するお問い合わせ」
よりサポートフォームに入力してください。

